

## 第1回市民参加及び協働推進市民懇談会会議録

日 時 平成23年8月3日(水) 午後7時00分～9時00分  
場 所 市長公室

### 出席者

○市民懇談会委員 清水委員 高橋委員 有賀委員 岩田委員 河原井委員  
小寺委員 池田委員 島谷委員 野崎委員 吉原委員

### ○事務局<協働推進課>

市長 栗原課長 水口 吉野

### 傍聴者なし

内 容	
1. 開 会	栗原課長
2. 委嘱状交付式	市長が交付 栗原課長読み上げ
3. あいさつ	星野市長
4. 自己紹介	委員自己紹介及び職員自己紹介
5. 議 題	
(1) 市民参加・協働の推進について	
・自治基本条例について	
事務局：自治基本条例リーフレットを基に、自治基本条例の概要を説明した。	
(2) 委員長及び副委員長の選任について	
事務局：要綱第5条第2項により、委員長及び副委員長の互選をお願いした。	
<委員から推薦があり、委員長に岩田委員、副委員長に河原井委員が就任>	
○委員長、副委員長就任あいさつ	
事務局：要綱第6条により、これより委員長に議長をお願いした。	
(3) 報告事項	
①平成22年度審議会等の開催状況及びパブリックコメントの実施状況について	
事務局：全庁的に実施した調査結果の概要について報告を行った。	

②平成23年度審議会等の公募委員及びパブリックコメントの募集状況について  
事務局：広報4月号に掲載した内容について概要を説明した。

(4) 今期の協議内容とスケジュールについて

①スケジュールについて

事務局：今年度は今回を含めて3回開催する予定であること及び予定されている会議の内容について概略を説明した。

②協議内容について

事務局：昨年度は市民活動センターや市民提案制度、協働の一環としての寄付制度等について意見交換を行ったが、今年度協議を進めていく課題・内容について、各委員から提案があればお願いしたい。その提案を元に協議を進めていきたいと考えている。

委員長：昨年度は市民活動センターの視察等を行っているが、それらの施設の進捗状況が気になる。当市では庁舎1階フロアに設置されていた情報コーナーが産業コーナーに変わって賑わってはいるが、情報の1本化を進めていくという点ではいかがか。他市の例を見ても情報の拠点が必要であり、少しでも形になると良いと考える。

事務局：情報の1本化に関連して、現在、来年1月の開始を目指して総合窓口設置の検討を進めている。併せて、開庁時間の延長なども検討しており、市民の利便性の向上に向けた具体的な取り組みが示せる段階になれば随時報告していきたいと考えている。

委員：この懇談会の役割について確認したい。各委員は様々な活動をしており、そこから生じている市民参加・協働の問題点や改善点を話し合い協議する場なのか、庁内委員会から示された意見・課題に対して意見を述べる場なのか。また、前期から持ち越している課題があるのであれば、その内容を明らかにするため資料等の提示をお願いしたい。

事務局：前期の内容については、資料の提示を行いたい。この懇談会としては、各委員から日頃考えていることを率直に発表いただき、その意見を市民参加・協働の推進に活用していきたいと考えている。また、それらの意見に対し必要があれば庁内委員会等でも検討を行う考えであり、どちらを優先するというのではなく、両委員会でも市民参加・協働を推進していく考えである。

委員長：各委員の所属している団体では少なからず問題を抱えており、様々な意見があると思う。先日、嵐山町にある国立女性教育会館に伺い、外国で起きている人身売買やそれに関連して誘拐が生じている問題について学んできた。今後日本でもそのような事態が起きる恐れがあり、安心安全という課題もこれから重要になると考えているが、皆さんからも何か感じていることがあれば伺いたい。

副委員長：所属している団体では主に環境分野で活動しているが、自然は大切と  
いいつつも緑が減っている現状が市内でもある。緑地の保存には遺産  
相続の問題や、芝だまりに対する中学生による放火事件等も起きてい  
るため、安全上の問題なども関わってくる。水谷地区の斜面林につい  
ても近隣住民の理解・協力を得ながら何とか保全に取り組んでいる状  
況であり、いかに放火を防ぐかなど、悩みは尽きない状態である。ま  
た、この懇談会については、まち全体の協働推進を学ぶという立場で  
参加しており、大局的にこのまちを良くしていくために、個々に関わ  
っている活動を起点に協議を深めていけると良いと考えている。

委員長：子供たちの実体験は愛情を持つきっかけになるので、様々な体験が必要  
である。学校で鶏の飼育に関われば動物に対する愛情が湧くし、田  
んぼで田植え等を経験すればお米のありがたみが分かるようになる。  
最近は公園の遊具が危険との理由で撤去されているが、子供たちの喜  
びをなくすとともに、多少の危険を経験する機会もなくしてしまうの  
で、いかななものかと感じている。他にも意見をお願いしたい。

委員：選挙とまちの活性化について、先般に行われた埼玉県知事選挙でも低  
投票率が課題となっているので、選挙に投票に来た方をチェックし、  
投票した方に地域振興券を配布すれば、投票率のアップやまちの活性  
化につながると考える。法律上の問題がどう関わるか不明な点はある  
が、有効につながれるとまちが活性化する。

委員長：ふじみ野市では、地元で使える金券とボランティア活動を絡めたまち  
の活性化策に取り組んでおり、商工会が軸になっている。例えば、富  
士見市商工会でもその金券を利用できるようにするなど、まちの活性  
化策について意見を伺いたい。

委員：昨年はプレミアム商品券の販売を行ったが、数が少なく半日で売り切  
れてしまった経過がある。また、商工会は通常単体で活動しているた  
め、合同で活動することは県との関係もあり、困難な面が生じてくる。  
経済の活性化という点では、大きな方向性は一緒であるが、雇用や商  
売という点ではクリアしなければならない課題もある。

委員：当市は若い人に魅力があるまちになっていないと感じる。先日、新聞  
に掲載された記事では、関東で1番魅力のあるまちに吉祥寺がなっ  
ていた。理由としては、自然がたくさん残っているうえに買い物に便利  
とのことである。当市に自然は残っているが、買い物には不便であり、  
魅力的なまちにしていける必要がある。個人的には、売り手・買い手・  
その間に入る人の3者にメリットがないと何事も成立しないと考えて  
おり、まちの状況を考えると、バスが必要と感じる。人が乗らないか  
らバスが少ないのか、バスが少ないから人が乗らないのか、利用者や  
バス会社ともに言い分はあると思うが、企業や市も含めてバスはたく  
さん走っているのに、企業の送迎バスを廃止し路線バスを走らせる等、

有効な方法がないか日ごろ研究を重ねている。

委員：東日本大震災という大きな地震を初めて経験し、高齢者や障がい者、子どもという社会的弱者にも災害は容赦しないということを実感した。宮城では津波の警報が聞こえず命を落とした方もいたし、当市においても、午後8時に翌日の計画停電の放送をされても聞こえない方は対応できないし、停電ではファックスも使用できないため、連絡手段がなくなってしまう状況であった。市という大きな単位でくくるとそのような方への対応がこぼれてしまいがちなので、地域の中にはそのような方もいると理解してもらえるように、地域・近所との日ごろの関係づくりが大事であると感じた。特にボランティアとの関わりがない方は地域での助けが必要であり、一人ひとりが安心して暮らしていくためには、人と人とのつながりを持つことが大切と感じた。

委員長：埼玉県男女共同参画推進センターWith You さいたまの勉強会に参加したときに、震災で避難した女性の方の着替え場所やトイレが少ない点が課題として指摘されており、女性の視点を持つことが必要と感じた。自治シンポジウムでは防災に関して話し合いたいと考えているが、日ごろから意識を持つことが必要である。また、市が災害時に備えて土地（公園）を確保し、避難所に充てるという案も出ていた。

委員：災害時に高齢者や障がい者の方などをどう見守るかということを見ると、町会の役員や民生委員だけでは手が足りないので、やはり普段から地域でのコミュニケーションが必要と感じる。男女共同参画としても災害時の対処の仕方を講座やセミナーを開催して勉強していきたいと考えているので、ぜひ一緒に参加いただきたい。また、公募委員について、同じ市民なのに他の委員については再任が可能であるのに公募委員の再任ができないのはいかがかと思う。併せて、パブリックコメントについて、意見募集の日数が短かったり、募集の時期が3月や12月といった忙しい時期であったりすると意見の提出が難しいので、システムの改善を行わないと活性化につながらないと感じている。

委員長：自治基本条例の策定時に関わっていたが、良い条例ができたことに誇りに思っている。この条例では市と市民の関係は対等であると謳っているので市長からも同目線で意見をお願いしたい。

市長：新しい委員も加わり活発な意見交換をいただき感謝申し上げます。まず、商業と地域の活性化について、福祉と商業のタイアップに関して様々な自治体で行っているが、当市でも検討を進めている。特に来年は市制施行40周年となり、国難ともいう時期でもあるため、商工会などと協力して前回以上のプレミアム商品券の発行を検討している。また、吉祥寺の例も出ていたが、まちづくりはバランスだと考えている。市役所前の開発計画が白紙となったが、3年かけてようやく復活してきた。市内の緑地を残すところは残すとともに、未来会議に参加した中

学生からも市内に買い物をする場所がないとの意見が出ていたが、消費の6割が市外である現状を改善し、雇用も創出していくことが、この地域の大きな発展につながると考えている。各委員の皆様から今後も貴重な提案・提言をいただき、当市の活性化の起爆となるような懇談会としていただきたい。

委員長：様々のご意見を伺い、この中から課題等も絞られてくるかと考えるが、それらを踏まえて次回の協議を行いたいと考えている。最後にまだ発言をいただいている方をお願いしたいが、いかがか。

委員：昨年度は協働を広めるためはどうしたらよいのかということで、市民の意見を取り入れたり、発信したりする場所が地域ごとに必要という話が出ていた。新しく加わった委員も含めて引き続き検討を進めたいと考えている。

委員：活発な意見交換が行われ、本当に懇談会と感じた。様々な意見を様々な立場から出してもらい語り合うのがこの懇談会の大きな仕事だと考えている。

#### 6. その他

事務局：次回の会議は11月上旬を予定し、詳細な日程については、後日調整させていただくこととした。

#### 7. 閉 会 河原井副委員長